



毛玉が出来る原因は、以下のケースが考えられます

1 繊維の摩擦

衣類同士がこすれあうことにより、繊維が絡まりあって毛玉になります。
※わきの下、パンツの場合は股下、靴下のかかと等の摩擦が起こりやすい箇所は非常に毛玉がでやすくなります。

2 毛玉がしやすい素材

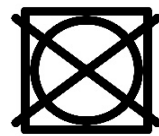
・アクリル、ポリエステル等の化学繊維、天然素材+化学繊維の混合素材
・羊の毛であるウールは水で洗うことにより、摩擦が生じます
※クリーニング店で毛玉取りをして頂ける店舗もございます。

3 洗濯衣類表示タグを確認していない

・ネットに入れて洗濯を行っていないケース
・おしゃれ着や化学繊維を高速脱水にかけているケース
・ドラム式用洗剤および柔軟剤を使用していないケース
上記などが考えられます。
※おしゃれ着は、購入時にメーカーに確認することをおすすめ致します。

4 洗濯タグに「乾燥不可マーク」がついている衣類を乾燥機にかけている

乾燥不可マークがついているものを乾燥にかけてしまうと、乾燥ファンにホコリが固着して、洗濯機を使用するたびにホコリがドラム内に入り、他の洗濯物へ付着し毛玉が出来る場合がございます。
※乾燥終了時に、再度すすぎプログラムにてドラムを洗浄することをおすすめ致します。



乾燥不可マーク

5 衣類のホコリ

洗濯機のドラム槽が綺麗な状態であっても、洗浄前の洗濯物に細かいホコリがついていたり、粉上のホコリが出やすい衣類は毛玉ができる場合がございます。
※ホコリの出やすい衣類は、分けて洗っていただくことをおすすめ致します。

6 ドレンフィルターの詰まり

ドレンフィルターのホコリ詰まりおよび洗剤カス・異物詰まりにより乾燥時の冷却水が流れにくくなり、ホコリが詰まりやすくなり毛玉が出来る場合がございます。

その他、別紙資料をご参照ください。

